

学力向上に係る効果的事例

【白岡市教育委員会】

心を耕す活動の充実

学力向上に必要な「心を耕す活動」

本校の児童は、ペーパーテストで全国や埼玉県の平均値を上回り、学習意欲が旺盛で規範意識も高い。この実態から、本校では、学力向上への即時的な対策をとりつつ、さらに、生涯学習の基盤となる学力の形成を目指す。

「教養」を英語で culture というが、culture には「耕作」という意味もある。よく耕された土地に作物が実るように、豊かに耕された心は学力を向上させる良い土壌となる。そこで、将来にわたり主体的に学ぶ力の習得をめざし、心を耕す活動を充実させることとした。



事例1：ふるさと意識の醸成

キーワード：住む町への愛着・自尊感情

①地域の伝統芸能「ささら獅子舞」を知る・参加する・保存を願う。



「知る」興味津々、ささら獅子舞コーナー



「参加する」郷土文化研究クラブの活動



「参加する」奉納で堂々と演舞



学習発表会で演舞を体験し、伝統を味わう

②市制施行（平成24年10月1日）の機会をとらえて、我が町「白岡」への愛着を深める。



市のマスコットキャラクター「なしべえ」「なしりん」登場
大好き！白岡（児童集会）



事例2：言語活動の充実 キーワード：読解力・家庭との連携

質問紙（県学習状況調査・全国学学調査）から「読書」に伸び代！そこで…

①学校図書館を充実させる。



本と仲よくする通り 先生のおすすめ本コーナー 自由読書コーナーに暗幕→読み聞かせ劇場

②読書活動を推進する。



「学力向上だより」を発行し、本校児童の学力状況を家庭に知らせる。その上で、読書活動を推進する必要性を説き、家庭での取組例を示して協力を依頼する。

学校での取組

- 図書室(本ナカ通り)をさらに充実させます。(学校応援団による読み聞かせコーナーの活用を含みます)
- 教員による読本紹介や委員会活動による読み聞かせなどで興味関心を高めます。
- すきま時間の読書を勧めます。

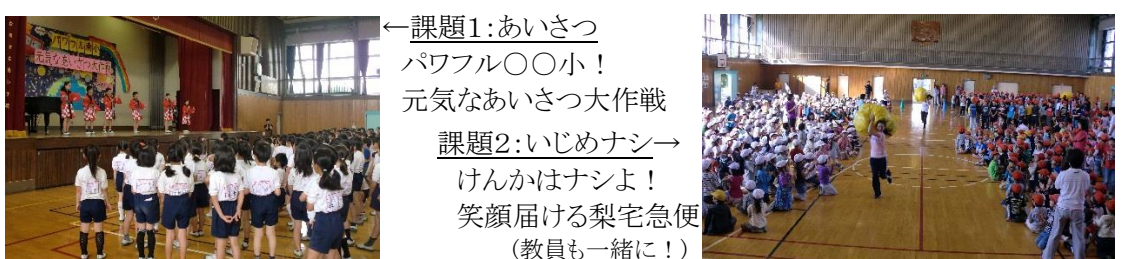
家庭での取組はさらに効果的です

(取組例)

- 家庭学習で読書!
- 「ながら聞き」でOK、音読を聞く!
- テレビを消して家族で読書タイム!
- お子さん専用の書棚! (増える喜び)

事例3：児童会活動の充実 キーワード：創意工夫・愛校心

①生徒指導上の課題を扱う児童集会



②学習成果の発表としての児童会活動

土曜学習参観の「〇〇小まつり」(遊びの交流)を「学習発表会」へ組み替え



1・2年…生活科 総合的な学習の時間 3年【郷土】 4年【環境】 5年【健康】 6年【福祉】